

## 神社上における上ノ山地区の緑化施設等整備試案例

### 景観整備のポイント

既設のコンクリート舗装は基本的に残す方針であるが、導入部分のみ地場産の石組階段を整備し、散策の雰囲気作りを行う。  
 現況の老朽化した人止柵、転落防止柵の印象は強く、改修は空間のイメージを大きく変えるといえる。



### 景観歩道 ~神社見晴線~

#### 導入エリア

幅員の3/4程度について既設コンクリート舗装を石組階段として再整備する。

- ・石組み階段整備
- ・老朽化した柵の再整備(人止柵)

#### コンクリート階段

- ・階段はそのまま
- ・案内プレート等の埋め込み
- ・老朽化した柵の再整備(転落防止柵)
- ・間伐材等利用による土留の再整備

### ボランティア管理

#### 園路際へのにじみだし

園路脇の土の上を歩けるように整備する。

#### 自然学習の森 (ボランティア管理)

間伐・枝打ち・木柵・木道・粗朶柵等

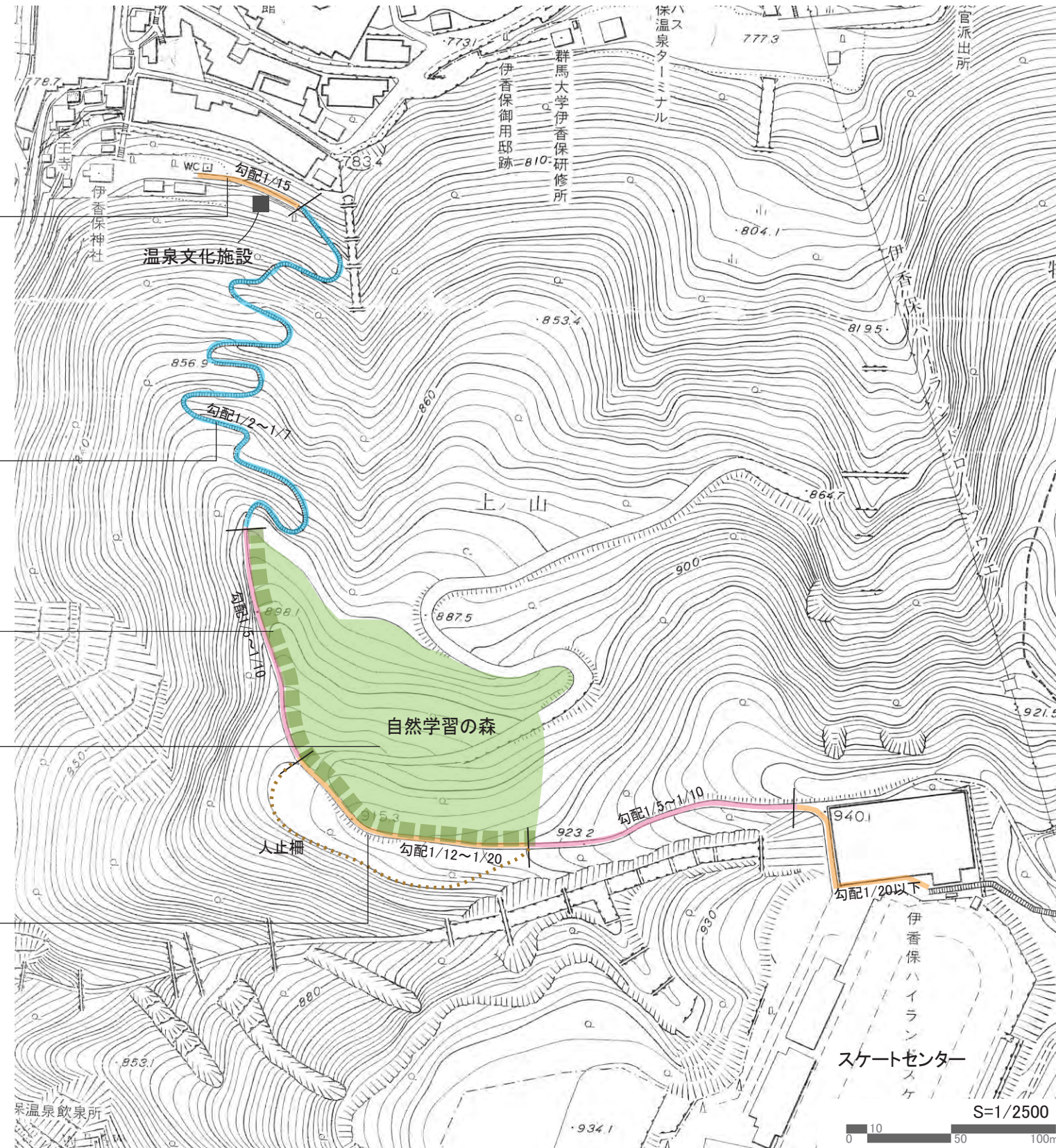


イメージ写真

#### 勾配がゆるいエリア

人止柵は園路から遠い部分に整備し、ゆったりと歩ける雰囲気を提供する。

※森林公園と比較して身近な山を「自分たちの山」として管理・利用してはどうか、という提案。





### 景観整備のポイント

歩行者の回遊を快適なものとするため、石段から横へ伸びるそれぞれの小路の特性を生かした景観整備を行う。  
地場産の石など「本物」を用いた舗装とし、風合いが増すように、また場所によっては草の生える隙間を生むディテールにより、ほっとしたみちになるよう工夫したい。



現況特性：  
狭く絞られた路地の向こうに開放的なメインストリート/自然の山と沢へつながる急坂



### 景観歩道 ~石段街から裏斜面へ抜ける路地~



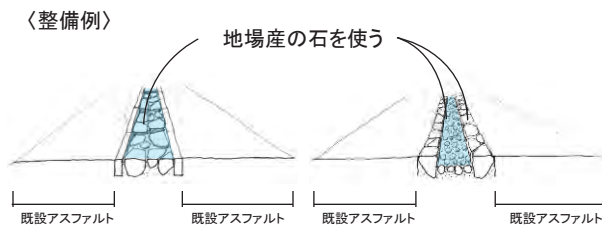
#### 湯の香温泉広場 試案例

現在ある共同風呂と連携を図り足湯のある広場を整備。足湯の捨て湯は坂を介して神社の池へと落ちる。最終的に川へ放流。  
※絵にはないが植栽を伴う整備とする

#### 物聞橋香湯線支線4号(弁天坂) 試案例

車の乗らない中央部分に開渠を整備。湯が見えることで温泉街らしさを感じるばかりでなく、冬には融雪補助の役割を果たす。

- ・開渠(捨て湯水路)整備
- ・老朽化した柵の改修(木柵とする)



#### 斜面林高台に休憩スポット

急坂の途中休憩スポット。林越しの向山を眺める。

- ・ベンチ設置、間伐/枝打ち程度。

### 石段街 緑と灯りのスポット整備 試案例

見えがかりの緑が少なく、路面店が少ないため明かりの寂しい石段街中段から下段のエリア。スポット的に緑と明かりを配置し、しっとりと華やかな石段街の雰囲気を演出する。

- ・高木及び低木、地被植栽
- ・低い灯り<灯籠>の設置



#### 伊香保景観再発見

P-1



P-2



P-3



現況特性:くねる道の向こうへといざなう路面店、眺望。石段街からまちの駅へ階段無しでつなぐ路地/裏通り。



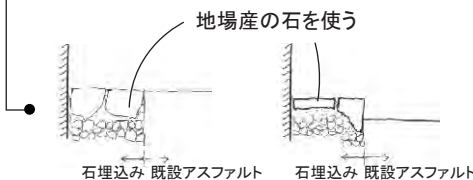
### 景観歩道 ~横丁/裏通り~

#### 石段街東側横丁路地 試案例

濃い影を落とす横丁、低い建物の並ぶ明るい裏通り。「老朽化したアスファルト舗装の補修に絡め、道路わきに帯状に石を埋め込むなど歩行者の目を楽しく、かつ歩きやすい道路に再整備する。

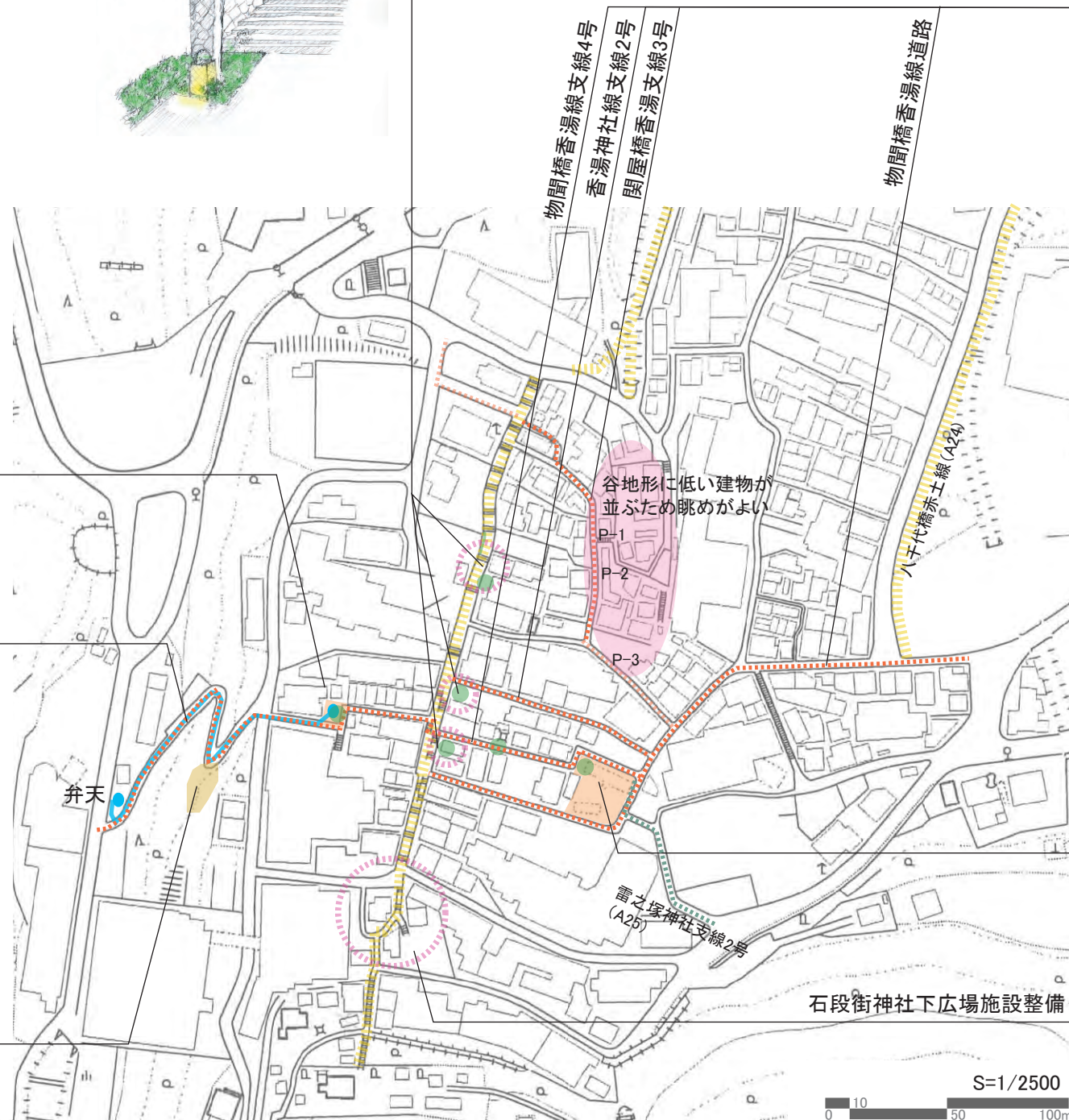
- ・歩行者空間の石敷舗装等改修整備
- ・老朽化した柵の改修
- ・ポイント植栽(高木、低木、草花)

〈整備イメージ〉奥へ導かれる雰囲気作り



### 石段街横丁広場 試案例

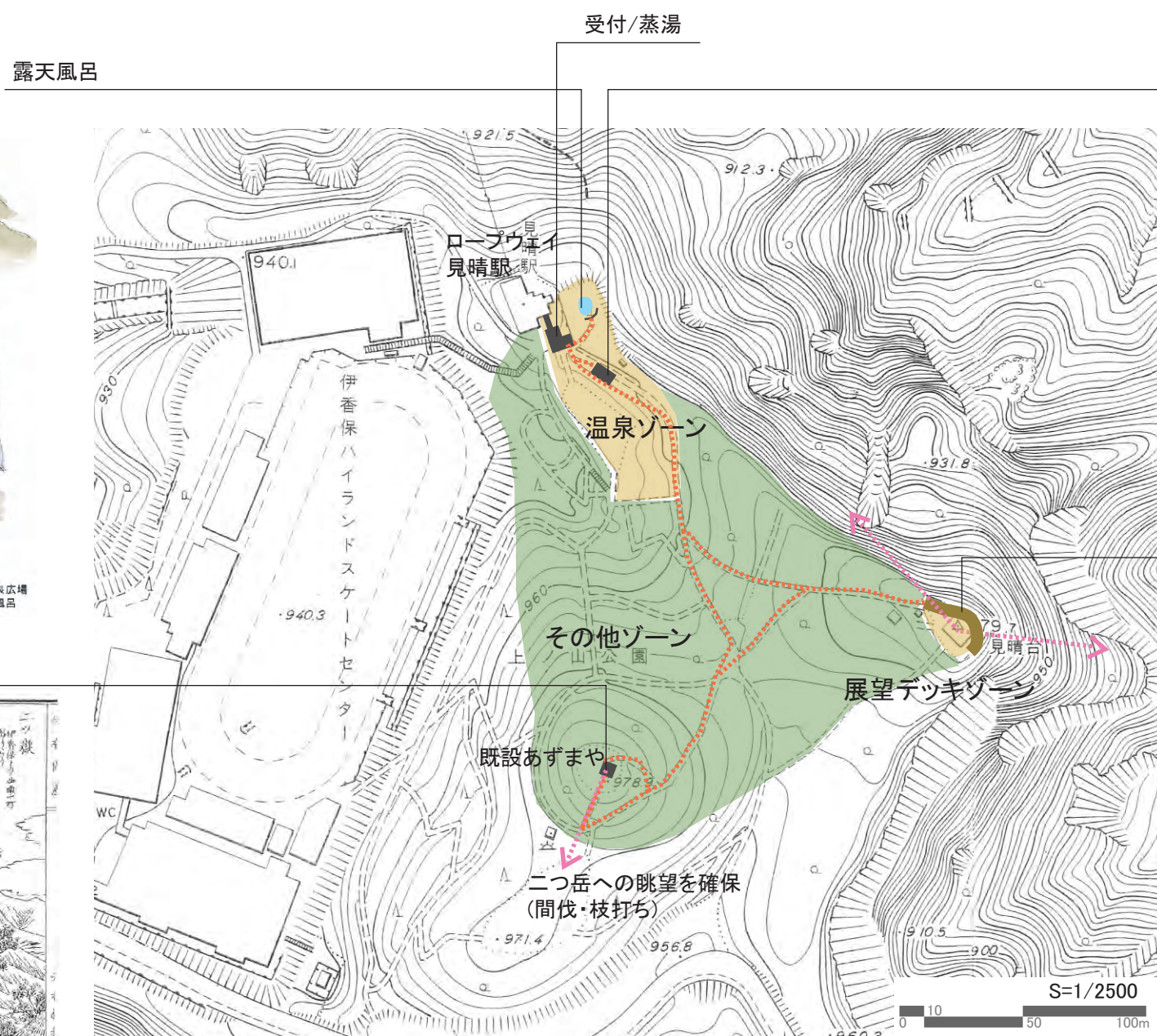
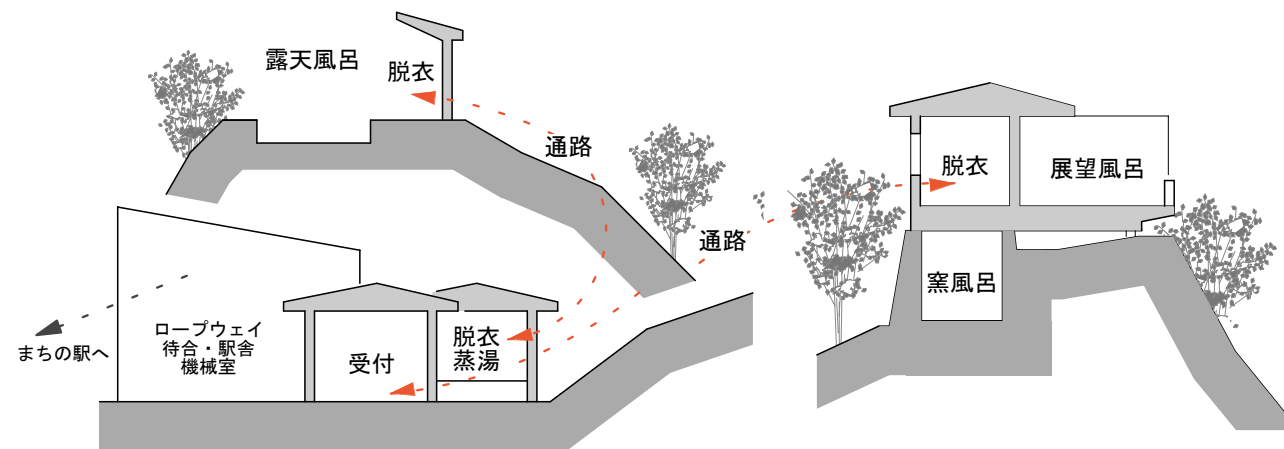
現在の屋根付駐車場を解体し、タウンバス発着ロータリーとする。  
※絵にはないが植栽を伴う整備とする





景観整備のポイント

- ・2箇所の展望広場における現況施設は眺望のよい立地を十分に活かしてきていないので、ポテンシャルを生かした整備とすることが最重要である。
- ・地形を利用した施設配置としたい。
- ・温浴施設については、江戸時代から二ツ嶽の麓で親しまれた蒸風呂、窯風呂の入り方を踏襲したものを小規模に展開する。
- ・上ノ山公園は完成した形で存在しているので、眺め等を考慮した間伐や枝打ち、下草刈りなど維持管理程度の整備とする。



窯風呂/展望風呂

※小さな温浴施設を配置する公園の整備は昔の蒸し風呂のあり方に習うことができる。



出典：伊香保誌(明治17年)

展望デッキ



見晴温泉広場 展望デッキ

二ツ岳の眺め



出典：伊香保誌(明治17年)



見晴温泉広場 露天風呂